

「自然と文化」ご案内

主催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共催 大豊町教育委員会

日時	第1回	9月28日(金)	午後6:45~8:30
	第2回	10月5日(金)	午後7:00~8:30
	第3回	10月12日(金)	午後7:00~8:30
	第4回	10月18日(木)	午後7:00~8:30
	第5回	10月26日(金)	午後7:00~8:45
場所	大豊町総合ふれあいセンター 3階多目的ホール		

講座タイトルと講師

第1回 子どもの食物アレルギーに関する最近の話題

医学部 小児思春期医学 助教 しのはら 篠原 みわ 示和

第2回 肥満と生活習慣病

医学部 消化器内科学 准教授 さいばら 西原 としじ 利治

第3回 地域の自立とは何か

国際・地域連携センター教授 さかもと 坂本 せつお 世津夫

第4回 なぜ山の木が売れないのか

農学部 准教授 ふるかわ 古川 やすし 泰

第5回 食と健康 ~ 氾濫する情報の中で我々は何を信じたらいいのか? ~

国際・地域連携センターセンター長・副学長 教授 うけだ 受田 ひろゆき 浩之

募集人員 20人

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

お申し込み 大豊町教育委員会 生涯学習班 (TEL0887-73-0811) へ、9月21日(金)までにお申し込みください。

受講料 1,200円

少しだけ、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門の商業

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先：高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL：088-844-8555 FAX：088-844-8556

E-mail：sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp (坂本)

* ホームページも見てね URLは <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwlife/index.html>

講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
	18:45 ～ 19:00	開 講 式
9月28日(金)	19:00 ～ 20:30	子どもの食物アレルギーに関する最近の話題 篠原 示和 この数十年に、特に小児において、アトピー体質(特異的抗原に対するIgE産生が高値)の保有率およびアレルギー疾患の発症率が増加しています。また日本では、約3人に1名がアトピー体質であり、国民体質ともいえる大きな社会問題となっています。また、少子化社会の進む社会では、一人一人の子供が極めて重要です。そこで、子供のアレルギー疾患の代表である食物アレルギー疾患の診断、治療および発症予防に関してお話いたします。
10月5日(金)	19:00 ～ 20:30	肥満と生活習慣病 西原 利治 1950年に高度経済成長の担い手となる壮年期人口の健康を守る目的で、成人病という考え方が取り入れられ、年1回の健康診断が広く行われるようになりました。病院に着いたらまず血圧測定という習慣が形成され、生活改善運動を通じて高血圧に対する減塩などの生活指導が行われました。10年の努力により、脳卒中の増加が止まり、その5年後には徐々に発生が減少し始め、極期の2/3まで抑制することができました。しかし、他方、癌の早期発見が必ずしも生命予後の改善には繋がらないなど、課題が残りました。そこで、20年を経た2000年に生活習慣病という考え方が提唱され、健康日本21という取り組みが始まりました。今回の考え方は病気になることを予防しようというもので、病気の元になる栄養過多や運動不足など生活習慣を改善することを目的とした取り組みについて、お話ししようと思っております。
10月12日(金)	19:00 ～ 20:30	地域の自立とは何か 坂本 世津夫 地域の自立とは何か。魅力ある地域をつくるには、地域において知的能力とコミュニケーション能力を如何に高めるかが課題であります。ICT(情報通信技術)の活用も重要であると同時に、如何にして地域に「気」を送るか、地域で「気」を育てる仕組みが重要です。講義では、これからの地域づくりについて、四国で活躍しているキーマンをご紹介します、「人づくり・まちづくり、仕組みづくり」のポイントについて参加者みんなで考えてみたいと思います。愛媛県双海町「しずむ夕日が立ちどまるまち」、愛媛県内子町「内子フレッシュパークからり」、高知県馬路村「ゆずの村」、徳島県上勝町「いろどり」のとりのくみなどをご紹介します。
10月18日(木)	19:00 ～ 20:30	なぜ、山の木が売れないのか 古川 泰 世界的には人工林時代に入り、木材の貿易量も増加しています。日本における木材の消費量もそんなに変わっていません。製材の価格も下がっていますが、山の木価格はもっと下がっています。森林所有者の苦悩は深まり、もはや森林所有ということが重荷になりつつあります。この講義では、世界における日本林業の位置を確認した後、なぜ山の木が売れないのかを立木価格形成の仕組みと森林所有の特徴から述べます。最後に、今からの林業のあり方を高知県の新政策「森の工場づくり」を事例に考えてみたいと思います。
10月26日(金)	19:00 ～ 20:30	食と健康 ～氾濫する情報の中で我々は何を信じたらいいのか?～ 受田 浩之 「健康」という言葉がマスメディアを通じて頻繁に聞かれます。高齢化社会の到来とともに、「健康」への関心は益々高くなり、さらに多くの人たちが、「健康の維持に食生活が深く関わっている」と認識するようになっていきます。一方、「発掘あるある大辞典」のデータ捏造問題のように、マスメディアから発信される情報がすべて正しいわけではないことも常識になりつつある現在、我々消費者はいかに氾濫する情報の中から正しいものをキャッチできるかが重要です。本講座では、「食と健康」に関する基礎知識として、「活性酸素と病気」、「糖尿病の合併症」についてお話しするとともに、「特定保健用食品(トクホ)」や地域の食材が有する健康増進効果について紹介し、賢い消費者として“確かな眼”を身に付けていただこうと考えています。
	20:30 ～ 20:45	閉 講 式 (修了証書授与)